

ご挨拶

(一社) 東北地質調査業協会 理事長 奥山 清春



日頃より当協会の事業運営に対しまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

まずもって令和6年元日に起きた能登半島地震でお亡くなりになられた方に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された地域の皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

暖冬の影響で雪が少なく、年末には少し穏やかな1月を迎えるのかなと思っていたところ、能登半島地震により大変な被害が発生しております。改めまして被害地域の皆様の一日も早い復興をお祈りいたします。

また昨年も全国各地で災害が発生し、夏には秋田県での豪雨による災害が発生しました。災害対応された企業におきましては、大変ご苦労様でした。今後このような地震や災害に備え、また災害協定に基づき積極的に対応させていただき、発注機関とより一層綿密に連携を取りながら、安全・安心につながる地域づくりに邁進していく所存で御座います。

昨年の新年会は新型コロナの関係で講演会と懇親会を実施しましたが、人数制限を行ったうえでの開催と致しました。本年は4年振りにフルスペックの開催となり、協会員各社の皆様と胸襟を開いての会合となりました。今後も、本来の協会活動を積極的に会員の皆様と一緒に活動してまいります。

今年も国内、世界経済とも非常に厳しく、いくつもの課題もある一年と予想されております。政治情勢が大変騒がしく、また昨年からの様々な分野における物価高が続いております。そして4月からは建設業本体での残業規制が始まり、働き方改革の一層の推進が求められております。そのうえ賃上げ、若手技術者の雇用や技術の伝承、BIM/CIMなどの積極的な活用、そして何よりも引き続き防災・減災、災害対応などが非常に重要となっております。

このような社会情勢に敏感になり、しっかり把握したうえで、協会員一丸となって、より一層前進するよう取り組んでまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしく願いいたします。